

No.2431 紀泉高原、俎石山

2014年（H26年）9月14日（日）

参加者：甲田（L） 上ノ原 佐々木 桜井 曾和 堀亀進 堀亀節子 宮本 片山晃
片山琴美（記）

カックテイル（昔の名前）としては2004年の「大阪を巡る山シリーズ」以来、久しぶりの和泉の山です。総勢10人、9時賑やかな出発です。

改札を出ると正面に今日の山が望まれる。駅前の道を和歌山の方に向かって行き、公園の所で左に曲がり国道26号に出る。国道を横断して更に和歌山方面に歩く。左に大きな観音像を見て通り、しばらく行くと車道に出る。車道を渡って斜めの農道に入ると山が近くなった。

葛の花が満開だ。頭上を走る第二阪和の下を通り、南海霊園の様々な墓石を見ながら行く。

山道になって右側の木間越しに池が光っている。猪が丹念に掘り返した道を奥へと入って行くと溪流に垂木の橋が架かっている。この橋を渡るのかと思ったら、その先の名水に案内されて一休み（10:00～10:10）大阪名水の味は…？

田山川の名水を出発、先程の垂木橋を渡り、ゴロゴロの沢沿いに行く。右の山陰にブルーシートが張ってあり、その前の沢に引かれたパイプから水が勢よく噴き上がって居る。何処かの粋人の遊び心か？飲んでみようと思つたが余りにも高く上がりすぎ残念、飲めない。先っきの名水を飲めばよかった…後悔先に立たず。危なっかしい垂木橋を何度かわたり返す。右の山の壁岩に樹が覆い冠さる様に茂っている、「一帯は危険につき下山不可」とあるのはこの辺りの事かと思う。

源流を渡り、急斜面を登り切ると痩せ尾根に出て、左に行くと俎石山北展望台（11:16）。

青い空、青い海に浮かぶ関空、六甲山、淡路島、白い飛行機が飛んできたが中々降りて来ない。「何時まで飛んでるんや」と言いながら見つめる、ひと時。



少し行き俎石山（420m）の一等三角点のある

小広い台地に立つ。此処も素晴らしい眺め、加太の浦から和歌山湾迄見渡せる。この紀泉アルプス一帯は帝国陸軍の由良要塞地帯であった頃、立入り禁止、三角点も山のピークさえも陸測地図に記されていなかったとか。そのせいか手つかずの自然が残されている。美しい樹林の道を大福山へと向かう。大福山（427m）は役の行者ゆかりの山。祠に地蔵さんが祭られて、その前に華やかな造花が供えられている。山の仏には似合わないなあーと思うのは私の一人よがりだろうか…。

南に蛇行し、陽光を浴びた紀ノ川がキラキラ輝いている。長椅子付の大きなテーブルが据付けられて、よい食事所だ。11人で

テーブルを囲み楽しい昼食タイム。六甲山や金剛山のような賑わいのないのがよい。



大福山を出発、懺法ヶ岳、口法ヶ岳のピーク越える(巻道もあるよ)。山桃の大木を見上げよく踏まれた尾根道を行き井関峠に着く、昔から紀州と和泉を結ぶ交通の要所として関所があったと聞く。

四季美しい峠だ、特に初秋の今頃は辺り一面野菊が咲いて石地藏がひっそりと控えて居た。

和歌山側から林道が峠まで来てから、峠の雰囲気は少し変わった、野菊の咲いていた所に東屋が建って、今日もライダーが乗り込んでいた。地藏さんも少し和歌山側に移された。

今日はお参りもせず、道中無事を願う勝手さよ。 緩やかに登って広い展望台広場に着く、各コースから登ってきた人達が休んでいる、私達も、もう登りはない。ホット一息、連なる山々、紀ノ川沿いの村々のパノラマ風景を楽しんだ後、地藏山の裾野を巻いて新しい六角堂の

ある展望休憩所を通り、下草の刈られた登山道をひたすら下り、JR 紀伊駅 (13:00) に着く。 ビールを求めて駅前を行ったり来たり、ああ駅ビールの美味しさよ !!

久しぶりの和泉の山、海も見だし、良い一日でした。

リーダさん有難う、ご苦労様でした、皆さんお疲れさん。

*コースタイム

箱作駅 9:00→10:00 田山川名水 10:10→山取付 10:40→11:16 北展望台(俎石山) 11:22→11:28 俎石山 11:30→12:04 大福山 12:35→懺法ヶ岳 12:53→13:07 井関峠 13:12→13:40 展望広場 13:50→15:00 紀伊駅



口法ヶ岳と井関峠の間に自生する山桃の巨木